

若手職員からのメッセージ

経済産業省

中部近畿産業保安監督部近畿支部

令和2年7月

平成30年度入省 経済産業技官 澤田 郁弥

これまで行ってきた業務について

私は、電力安全課において工場やビルなどの電気保安に関する業務を担当しています。

電気はとても便利なエネルギーですが、使い方によっては大変危険であり、感電死亡事故や負傷事故などの電気事故に至ることがあります。実際に近畿支部管内において、毎年数件感電死亡事故や感電負傷事故などが発生しております。そこで、国においては、電気を安全に使用できるよう様々な規制を行っており、私たちはその運用を担当しています。重責な業務ではありますがその分やりがいがあります。

日常の業務については、書類審査業務や現場での検査業務などがあります。書類審査業務に関しては、事業者等からの工事計画、保安規程、主任技術者の選任など各種届出の審査や電気事故の原因究明と分析及びウェブサイト、関係機関を通じた未然・再発防止のための広報・啓発活動を行っています。窓口に来られる事業者とのやりとりが多く、対話を通じて知識の幅を広げることができます。現場での検査業務については、立入検査や安全管理審査による、不良設備の改修や自主保安体制確立のための指導・指示を行っています。

平成31年1月より担当業務が変更になり、現在は適切な電気工事の実施により電気の安全を確保するため、特定の電気工事の従事に必要な電気工事資格者証等の審査・交付業務と電気工事業者への立入検査等を主に行っています。



技術系受験生の皆様へ

産業保安監督部では、電力保安行政に携わる電力安全課の他にはガス、火薬を対象とした保安課、鉱山を対象とした鉱山保安課などがあり、各部署で必要になる知識が多岐にわたります。私は産業保安監督部の存在を官庁訪問をするまで知りませんでしたが、一つの業務にとらわれることなく、幅広い業務に携わることができることに魅力を感じ、入省しました。

さて、皆さんが気になる職場の雰囲気ですが、現在の部署は私が大学時代に専攻していた分野と直接的な関係はなく、わからない事だらけですが、上司や先輩職員が親身になって教えていただけます。風通しの良い職場だけでなく、経済産業省内の研修制度も充実しており、日々勉強しながら知識を吸収できる環境が整っています。

興味のある方は是非、業務説明会にお越しください。

平成31年度入省 経済産業技官 福田 龍

これまで行ってきた業務について

私は、電力安全課においてPCB含有電気工作物の期限内処理に関する業務を主に担当しており、書類の手続きや窓口対応、事業者の方との電話対応を主に行っています。

PCBは電気機器において絶縁油や冷却用の熱媒体など、さまざまな用途で利用されてきましたが、極めて強い毒性があり、現在は新たな製造が禁止されています。

そして、これらの電気工作物は定められた期限までに処分しなくてはなりません。

書類の手続きは、事業者の方から提出された書類をチェックするものですが、事業者の方とのやり取りが多い業務です。

また、事業者の方が分からないことを窓口や電話で聞いてもらえることもあるので、そういった疑問に対する的確で、分かりやすく説明できるように頑張っています。

また、一つの業務だけでなく、今後は様々な業務に携わる予定です。専攻分野の知識にプラスして法律や専門的な知識を習得する必要があります。やりがいや面白さを感じています。

電力安全課に配属となって、新しく知ることが多く、まだまだ分からないこともたくさんありますが、国家公務員として責任のある対応をするよう心掛けて業務に励んでいます。



技術系受験生の皆様へ

産業保安監督部では電気の保安行政にかかわる電力安全課の他にも、ガス、火薬を対象とした保安課、鉱山を対象とした鉱山保安課があり、各部署で必要とされる専門知識は多岐にわたります。

私は大学では機械工学を専攻していましたが、産業保安監督部については説明会に参加するまでは全く知りませんでした。ですが、大学で学んだ知識を業務で生かすことができると思い、入省することを決めました。

また、実際の業務で分からないことがあっても、上司の方や先輩職員に親身になって教えていただいています。また、経済産業省内の研修制度も充実しており、知識をつけるための環境も整っています。

興味のある方はぜひ業務説明会にお越しください。

令和2年度入省 経済産業技官 南 雅貴

これまで行ってきた業務について

私は令和2年4月より、電力安全課 火力係・環境保全係に配属となりました。火力発電に関する保安や、環境に関する保安など様々な業務がありますが、現在は主に環境の保安業務の中のPCB含有電気工作物に関する業務、また、その他各種書類の手続き、事業者の方からの電話対応などの業務に携わらせていただいております。PCBとは水に溶けにくく、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高い等、化学的にも安定な性質を有することから電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきた油状の物質です。しかし、PCBは慢性的な摂取により体内に徐々に蓄積し、様々な症状を引き起こすことが報告されており、PCBを含有している電気工作物は定められた期限内に処分しなくてはなりません。特に大阪事業エリアにおける高濃度のPCB含有電気工作物については、今年度内に処理の手続きを完了しなくてはならないため、急がなくてはならない状況です。

現在、私は書類の手続きや電話対応などで的確に対応できるよう知識をつけたり、経験を積んだりと頑張っています。書類の手続き、電話対応どちらにしても学生時代に学んだこと以外の専門的な知識が必要で苦労していますが、難しいだけに得た知識を生かした瞬間や、適切な対応ができたときの達成感は計り知れないものであると感じています。

昨今のコロナウイルス及び緊急事態宣言によって、業務の面でも様々な制限があり、大変ではありますが国家公務員として責任を持って業務に取り組みたいと思います。



技術系受験生の皆様へ

私は学生時代、産業保安監督部の存在を知らず、あまり定まった目的も無いまま公務員の受験、一般企業の就職活動を行ってまいりました。その中で大学の教授から産業保安監督部の紹介を受けました。産業保安監督部には電気、ガス、鉱山、火薬等の保安に係る様々な部署があり、多くの分野の保安に関して幅広く携われるというところに魅力を感じ、入省を決めました。

私もいずれは他の部署へ異動することもあるでしょうが、様々な部署で保安に関する幅広い専門知識を得られるというのは産業保安監督部ならではの強みであると思います。

職場の雰囲気については、わからないことがあれば何でも上司や先輩に気軽に質問できる、非常に風通しの良い職場であると感じています。また、「働き方改革」への取組が進んでおり、プライベートの予定が組みやすいのも魅力です。

興味のある方は是非、説明会にお越しください！